

令和7年度技術検討会(第1回) 国営事業 再評価「小阪部川地区」資料の意見・質問について

第1回技術検討会での指摘事項・回答

該当の箇所		意見・質問	役職・氏名	対応方針(案)
資料名	頁			
再評価説明資料(案)	p.31,33	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所得率であれば分かりますが、純益率はあまり聞いたことがないので、何を意味しているのか教えてください。</li> <li>・資料4のp.33で総費用と総便益額は現計画から再評価時点で上がっています。一番大きな要因が純益率とのことですが、p.31の例えば水稲の純益率が現計画の71%から再評価の89%と僅か3年間で18%も上昇している理由はなんですか。</li> </ul>	岡山大学准教授 駄田井 久	<ul style="list-style-type: none"> <li>・純益とは、作物毎の粗収益から生産費を除いたもので、純益率は、粗収益に対する純益の割合である。</li> <li>・純益率が上昇しているのは、令和6年4月の「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数」の本省通知の際に純益率の算定基礎となる諸元が見直しされたことによる。</li> </ul>
モニタリング調査結果資料	p.1,12,13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オオサンショウウオが確認されているとのことですが、交配した種又は中国産であるのかについて調査されているのでしょうか。高梁川水系に昔からオオサンショウウオが生息し、他地区から入ってきていないのであればよいですが。</li> <li>・中国産だと問題があるので、過去に調査されているところに問い合わせをしてください。</li> </ul>	徳島大学准教授 河口 洋一	他機関が過年度に高梁川水系上流域で環境DNA分析調査を実施した結果によると、チュウゴクオオサンショウウオのDNAは検出されなかったと聞いている。